

東朽網

学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた
人間性豊かな実践力のあ
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)
体力づくりに励み、健康でたくましい子ども

第5号 平成29年6月27日発行(文責)校長 井津 京香

6月14日(水)の学習参観・懇談会に、お忙しい中ご参加くださりましてありがとうございました。学習参観では、子どもたち一人一人がめあてをもち、課題解決に向けて努力している姿や友達と協力しながら活動する姿をご覧いただけたことと思います。保護者の皆様も、一人一人の子どもの発言や子ども同士の関わり合いの様子をじっくりとご覧くださいましてありがとうございました。いつも以上に頑張っている子どもたちの姿が誇らしく感じました。

平成29年度 第1回 学校評議委員会 6月22日(木)

学校評議員会は、保護者や地域の方の意見をお聞きし、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進するとともに、学校が家庭や地域と連携・協力しながら、特色ある教育活動を推進することを目的としています。今年度の学校経営方針や取組の内容、子どもたちの様子について説明した後、学習を参観していただきました。

平成29年度 学校評議委員

の皆様をご紹介します

- 校区まちづくり協議会会長
 - 校区社会福祉協議会会長
 - 東朽網市民センター館長
 - 元東朽網小学校職員
 - 保護司
 - PTA会長
- 1年間、どうぞよろしく願い致します

5, 6年生プール掃除 6月8日(木) プール開き6月15日(木)



プールでの水泳学習に向けて、5, 6年生が隅々まできれいに掃除をしてくれました。水中には、落ち葉や泥がたまり、随分汚れていたのですが、約1時間後には、見ちがえるようにきれい

になりました。全校のみんなが気持ちよく泳げるようにと、一生懸命働いていました。今年も、充実した水泳学習ができそうです。ありがとうございました。



1, 2年生
「水になれる遊び・浮く・泳ぐ」

4年生 社会見学「新門司清掃工場・猿喰新田・井手浦浄水場」6月15日(木)

社会科の学習で学んだことと、実際のごみ処理の仕方や水をきれいにする過程とを結びつけながら見学しました。普段何気なく出しているごみについて、「地球環境を守る」という視点から考え、分別の意識を高めることができました。また、働く人たちの工夫や努力についても考えることができました。

- ・私が一番驚いたのは、溶融炉のことです。溶融炉では、1800度という高い温度で、少しずつ少しずつ灰を溶かしていくそうです。溶かした物は、ドロドロの炎のようになるそうです。工場で働いている人は、とても大変だと思いました。
- ・家庭ごみは、最初、ごみピットに入れられます。そして、大きなクレーンでごみを運んでいました。クレーンは、5~7トンも持ち上げられるそうです。私は、これから、ごみを分別したり洗ったりして出すようにしたいと思います。
- ・井手浦浄水場の周りには、自然がいっぱいありました。浄水場できれいにして安全な飲み水になることがわかりました。お土産の水は、とってもおいしかったです。



7月の主な行事予定

| | | | | |
|----|---------|---|---------------------------|-----------|
| 7月 | 5 | 水 | 和の膳 (7月~8月15日生まれ) | |
| | 11 | 火 | 4年 環境センター出前授業 | |
| | 13 | 木 | 個人懇談会 | |
| | 14 | 金 | 個人懇談会 | |
| | 19 | 水 | 給食終了・1学期末大掃除 | |
| | 20 | 木 | 1学期 終業式 | |
| | 21 | 金 | 夏休み (8月31日まで) 夏の教室(午前) | |
| | 22日~23日 | | | PTA校内キャンプ |
| | 24 | 月 | 夏の教室(午前) | |
| | 25 | 火 | 夏の教室(午前) | |

いじめのない笑顔あふれる東朽網小学校にするために・・・

4~6年生 代表委員会 6月9日(金)

- ・みんなで遊ぶ日をつくる。
- ・明るく元気よく、誰にでもあいさつをする。
- ・自分が言われていやなことは言わない。

1年生~6年生が、各学級で話し合ったことを代表委員会で出し合いました。そして、全校で取り組むことについて、話し合いが行われ、このように決まりました。



小倉南署と北九州市交通センター・交通安全協会の方々のご指導で、自転車の安全運転の3つの原則について学びました。

【原則1】「自転車は車両」

【原則2】「自転車の仕組みと点検の大切さ」

【原則3】「体と命を大切に」する乗り方・交通ルールを守ること



北九州市内では、子ども達が、自転車やキックボードなどに乗ることが多く、車と接触してけがをするという事案や運転を誤り、歩行者にぶついたり壁にぶつかったりして大けがをするという事案が発生しています。

学校でも、継続して指導を行っていきますが、ご家庭でも、下記の内容について、繰り返しご指導いただきますようお願いいたします。



自転車事故は、なぜ 起きるのか？ 安全な乗り方とは？

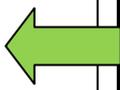
- 体に合った自転車に乗ってる？ 自転車は倒れやすい。もし、倒れたときに、自分の足で支えられる？
- 安全点検は大丈夫？ ブレーキ点検・タイヤの空気・ハンドルは、車体に対して直角・ライト・反射板は？
- 必ず、ヘルメットをかぶること 大事な頭を守るため

正しく使おう 間違った使い方はしてはいけない！
 ハンドルは両手でもつ（片手運転・手放しはダメ）
 お尻をつけて座って運転する（お尻離しはダメ）
 ペダルに足をきちんと付ける（足離しはダメ）

ブレーキ点検しよう！ いざという時に、止まらない
 ・軽く握っただけで、ピタッと止まらなければ、⇒危ない！
 ・ブレーキは、左⇒右 の順にかける

車道を走るときのルール

- 自転車は、車道の左端を通る。
 - ・友達と走るときは、一列になって走る
 - ・一旦停止して、安全確認
- 歩道を走るとき（12歳以下は通ってよい）
 - ※歩道は、歩行者優先
 - 「特別に道を譲ってもらっているんだ」という気持ちをもって、譲り合う、思いやりの心をもって運転する
- 交差点を走るとき
 - ・横断歩道は、車道の上。急に車がくるかもしれない
 - ・歩行者がいるときは、歩いて押して渡る



道路で乗ってもよいのは、自転車教室の学習をして、これらの約束やルールが守れる4年生からです。
 （東朽網小学校のきまり）

自転車事故で一番多いのは、飛び出し
 ・急に飛び出すと、危険を回避できない。
 ・曲がり角や公園、店から出るときは、
 ⇒一旦停止
 ⇒左右の安全確認

もし、自転車で人や物にぶつかったら、かならず止まって、状況をたしかめて、お家の人や近くの大人に、すぐに言いましょう。
 ※自動車がぶつかった場合は、ナンバーを覚えておきましょう。

**歩行者にけがをさせたら、加害者になる。
 小中学生だからといって、許されない。責任をとらなければいけない。**

子ども達の大切な命を守るための交通安全指導のお願い

かけがえのない 子どもたちの 大切な命 を守るために、下記のことについて、ご家庭でもご指導をお願い致します。

交通安全のきまり

- ・ 横断歩道のないところは、渡らないようにしましょう。
- ・ 細い道で横断歩道がないところは、右左をよく見て、車が来ていないことを確かめて渡りましょう。
- ・ 横断歩道をわたるときも、右左をよく見て、車が来ていないことを確かめてから渡りましょう。
- ・ 飛び出しは、きけんです。絶対にしてはいけません。
- ・ 自動車は、急には止まることはできません。車に気を付けて歩きましょう。
- ・ 道路では、ふざけて遊んだり、飛び出したりしないようにしましょう。
- ・ 道路を歩くときは、横に広がったりふざけながら歩いたりしないようにしましょう。

- ・ 自転車に乗って飛び出してはいけません。降りて、左右の安全を確かめて、押して、渡りましょう。
- ・ 曲がり角では必ず止まって、右左をよく見て、車が来ていないことを確かめてから渡りましょう。
- ・ キックボードやスケートボードなどは、安全な場所で気を付けて乗ります。
 （道路では、乗ってはいけません。）

たった一つしかない 大切な命です。交通事故には十分気を付け、自分の命は 自分でしっかり守りましょう。